

防コミの歩き方

BOSAI
KOBEMIRAI



星和台・鳴子防コミ
本部長 長谷 喜仁

待望の地域安全マップが完成

星和台・鳴子防コミは、平成15年に防災マップを作製しましたが、この度、改訂して新しく地域安全マップを作りました。

●災害想定(地震と大雨)の採用

私たちの地区は、神戸市北区に位置し、山を削って造成されたアップダウンのきついニュータウンですので、予想される災害を「地震」と「大雨」に絞りました。

阪神・淡路大震災時にトイレの水、通信手段、飲料水や食料の買い出しに困ったことから、防火水槽、プール、公衆電話、食料品店の情報を盛り込みました。また、大雨時に坂道を雨水が流れ下り、子どもが側溝に流された過去の苦い経験から、注意を要する側溝及び道路の下の隠れた雨水幹線を掲載しました。

そして、これに地域内の交通事故の危険個所を加えました。

●子ども目線の採用

子どもの安全確保は、地域活動の重要な課題であることから、子ども目線を取り入れたマップ作りを目指しました。そこで、漫然とまち歩きをしても、危険個所を見つけることができないので、子どもたちに協力してもらいました。

(1) 平成23年1月「星和台鳴子安全安心のつどい(防災訓練)」の中で、地域を4分割したマップへ、子どもたちに怖い思いを

した場所と内容を書き込んでもらいました。

(2) 同年8月、小学校PTA主催の行事「家族でサマー☆ナイト」の中で、地域を9ブロックに分けて子どもたちとともにまち歩きをした後、子どもたちにブロックごとの安全マップを作ってもらいました(下記写真)。

新しい地域安全マップはこれらのマップをベースにしたものです。

●表彰

子どもたちの作製した9ブロックの街区安全マップを社団法人日本損害保険協会「防災探検隊マップコンクール」に応募したところ、「ぼうさい探検隊チャレンジ賞」を受賞しました。また、この活動が北区青少年育成協議会に認められ、子どもたちに「青少年で讃える賞」が与えられました。

地域安全マップの作製に当たり、京都大学防災研究所矢守克也教授、神戸市危機管理室の職員及び、神戸北警察署員の皆さんほか、多くの方々にご指導、ご協力を賜りました。最後になりましたが、この誌面を借りて、厚くお礼を申し上げます。



子どもたち制作の安全マップ